※令和３年度以前入学生用

学校番号	1017

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子どもの発達と保育　　育つ・育てる・育ち合う」　（教育図書出版）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇２年次で学んだことを基礎とし、さらに子育てに関心をもち、積極的に取り組みましょう
- より具体的に、保育についての知識や技術を獲得し、実践していきましょう。
- 子どもに関わるすべての事柄を、育てる者としての視点から考えましょう。
- 子どもと積極的に関わる機会をもちましょう。
- 保育検定３級の合格めざし、言語表現・音楽リズム・家庭看護の技術を練習しましょう。

２ 学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と実践的な態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達と保育について関心をもち、主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	子どもの発達と保育についての課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	子どもの発達と保育に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	子どもの発達と保育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
４・５・６・７月	子どもの健康と生活	☆毎時間１名が、自分の経験等について発表し、その内容について他の生徒もレポートを書く。 （１年間を通じて行う） 〇大人の役割は 〇養護の具体的な方法 ＊DVD 教材 「幼児の生活と特徴」	〇 〇 〇	〇 〇 〇	 〇 	〇 〇 〇	a:子どもの健康と生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子ども健康と生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの健康と生活を支える技術を身に付けている。 d:子どもの健康と生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 相互評価 観察記録表 実技テスト 定期考査
		＊保育検定実施 ３級「家庭看護技術」 「言語表現技術」	〇	〇	〇	〇	a:保育技術検定を主体的に取り組もうとしている。 b: :保育技術検定の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c: :保育検定技術に関する基礎的な技術を身につけている。 d: :保育技術検定に必要な知識を身に付けている。	
８・９月	子どもの食事	〇栄養と食生活 〇乳児の食事 〇離乳 〇乳児の食事 〇幼児の食事の実態と問題点 ＊調理実習 「離乳食・幼児食」	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	a:子どもの食事について、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの食事での課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:子どもの食事の計画に沿ってを実践することができる。 d:子どもの食事に必要な知識を身に付けている。	実習計画 実習観察 ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価
１０・１１月	子どもの遊びと生活	〇児童文化財 ＊Ａのう祭プレイルームのためのおもちゃ作り	〇 〇	〇 〇	〇 〇	〇 〇	a:児童文化財の特徴について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:児童文化財に特徴について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:児童文化財を支える技術を身に付けている。 d:児童文化財の特徴について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 実習計画表 発表 自己評価 相互評価

※令和３年度以前入学生用

１ ２ 月	子どもの保育	○住まいと子どもの危険 ○心の健康 ○保育の方法 ＊DVD 教材を用いて考える （現状の保育課題について） 「ママたちが非常事態」	○	○	○	○	a:生活の中での子どもの危険について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:生活の中での子どもの危険について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの危険を避けるを技術を身に付けている。 d:生活の中での子どもの危険について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 自己評価
１ ・ ２ ・ ３ 月		○保育の環境 ○子どもの福祉と子育て支援 ＊DVD 教材を用いて考える （現状の保育課題について） 「君が僕の息子について 教えてくれたこと」	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:子どもの保育環境等について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの保育環境等の特徴について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの保育環境等の特徴を支える技術を身に付けている。 d:子どもの保育環境等の特徴について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。